



鈴鹿市立国府幼稚園 2024.3. 5 No.14

発表会、ありがとうございました！

先日は、発表会にお越しいただき、ありがとうございました。子どもたち、一人一人がとても良く頑張っていましたね。

当日の朝、遊んでいるときは「発表会、早く始まらないかなあ」「楽しみ！！」と話していた子どもたちも、片付けの時間になると「やばい！緊張してきた・・・」と、いよいよ始まる発表会にドキドキしているようでした。始まる前に、子どもたちに頑張りたいところ、お家の方に見てもらいたいところなどを尋ねると、「きらきらぼしを間違えないように弾きたい」「合奏で、音をよく聞いてやる」「大きな声で台詞をいう」「かっこいい姿勢を見てほしい」「最初から最後まで、全部頑張る」など、一人一人が自分なりの目標をしっかりとっていました。

いざ本番が始まると、緊張していたり、嬉しそうにお家の方の方を見ていたり、上手くいって喜んだり、思わぬハプニングが起きたり・・・その中で、練習の時とは違って、一人一人が「自分の頑張っている姿を見てもらいたい！！」という気持ちをもっているということが、子どもたちの表情や姿から伝わってきました。子どもたち曰く、「楽しかったけど、めっちゃ緊張した！！」とのことでした。





発表会后、お家の方の前では緊張してなかなか言えなかった感想も、部屋に戻ってもう一度聞くと、「はい！はい！！」と大きな手で手を挙げ、みんなが発表しました。「ピアノカ、バッチリやった！」「『きらきらぼし』が間違えて悔しかった。でも、最後まで弾けた」「合奏で、みんなの音を聞いてできた！楽しかった！」「緊張したけど、大きい声で自分の台詞言えた」「きれいな声で歌えた」など、発表会を振り返って話していました。

その後、お家の方に感想を書いてもらったことを話すと、「ええ！なんて書いてあるの？」「早く読んでほしいけど、ドキドキする」と、大喜び。自分への感想、友だちへの感想を真剣に聞いていました。自分の感想が読まれると、照れ笑いを浮かべていたり、友だちのお家の方の感想を聞いて、「よかったね！」「頑張りたいって、言ってたところじゃない？」と、友だちに声をかけたりしていました。全員の感想を読み終わると、「めっちゃ嬉しい！！」とみんなが声をそろえていい、「もう一回、ありがとう言わな！」「『ありがとうの花』歌ったら、いいんじゃない？」「帰ったら、ありがとう言うわ！」と、本当に喜んでいました。



練習からとても頑張ってきた子どもたち。その頑張ってきた姿、精一杯自分の力を発揮している姿を最後まで保護者の皆様に見守っていただき、子どもたちは達成感や満足感を得ることができました。また、発表会后すぐに感想をいただいたことで、自分の頑張った姿をたくさん褒めて、認めてもらい、その嬉しさがより大きな満足感や、「がんばったら、できるんだ！」という自信にもつながったのではないかと思います。

保護者の皆様には、温かい応援や励まし、感想をいただき、ありがとうございました。



一年生の授業見学に行きました

28日に、国府小学校へ行き、一年生の授業を見せていただきました。二クラスに分かれ、国語と算数の授業を見学しました。

教室に入ると、子どもたちは興味深そうに周りをキョロキョロ。壁の掲示物をじっくり見たり、お姉さんたちに教科書やノートを見せてもらったりしました。チャイムが鳴り授業が始まると、一年生と一緒に静かに座り、授業の様子を静かに見ていました。



テレビみたいなのに、(教科書が)映ってる!

すごく大きな定規があるね!

この形、作れるかな?

三角の色板を使って、いろいろな形を作る勉強。一年生を見ながら、実際にさせてもらいました。



ここが、トイレだよ



授業を見せてもらった後、一年生と少し交流をしました。まずは、トイレ紹介。一年生が子どもたちの手を引いて、トイレを案内してくれました。



ランドセル、重いよ～！

なんと、お兄さん、お姉さんが使っているランドセルを一人ずつ実際に背負わせてくれました！なんだか、一年生になった気分♪しかし、「それ、空っぽだよ。そこに、教科書とノートを入れるんだよ」と教えてもらおうと、その重たさに「ええ～！！」と驚いていました。

その後、一年生の間でしている伝承遊び（だるま落とし、あやとりなど）を一緒にしました。ルールを教えてくれ、一緒になって喜んでくれる一年生の優しさに、初めは緊張していた子どもたちも、安心して楽しむことができました。



一年生との交流の後、一年間の通学団のお礼を言い、また次六年生になる五年生の姿を見に、五、六年生の教室へ行きました。大きな高学年の姿に、教室に入った瞬間圧倒されていました。

幼稚園に帰ってから、「なんか、五年生と六年生、めっちゃ大きかったなあ」と、話していました。



実際に小学校に行って授業の様子を見せてもらうことで、「楽しみにってきた！」「早く、自分のランドセル背負いたいなあ」と、ますます小学校への期待が高まったようです。そして、それとともに、「えっ、待って！あと幼稚園、どんだけくるの？」「もうすぐ幼稚園終わってしまうやん！」「え～！それは寂しい・・・」と、自分たちがまもなく卒園するという実感も湧いてきたようです。

残り一か月を切った幼稚園生活。悔いを残すことなく、一日一日を今のうめ組の友だちと一緒に楽しんで過ごしてほしいと思います。

★国府小学校ホームページ内に、『4月、待ってるね！』のタイトルでこの時の様子の写真が掲載されています。